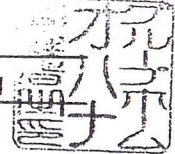


(別紙4(2))

事業所名 グループホームオハナ

作成日: 平成 26 年 5 月 25 日



目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

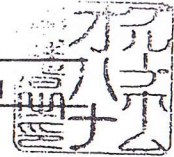
【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	2	地域に根付いたグループホームの役割が果たせていない。	地域行事への参加が出来、またグループホームへも地域の方が気軽に出向いてもらえる様にする。	毎週行われている地区の健康体操の参加継続。また、運営推進会議の場などで、当事業所への行事参加の呼び掛けやグループホームの役割等を伝える。地域の交流会を行う。 12ヶ月
2	10	ご家族への情報発信が少なく、家族が満足できていない。	家族への情報発信ができ、満足して頂く。	ご利用者様の日々の暮らしが分かるように、定期的な広報誌の発行、また写真などを渡す。遠方にご家族には、郵送する。行事への参加呼びかけ。また、ご家族へのアンケート調査を行う。 6ヶ月
3	6	事業所内の研修の取り組みが出来ていない。	定期的な研修を行う。	職員会以外に時間を設け、月1回の研修に取り組む。また、その時期にどの様な研修が必要であるか、職員にも意見を聴き取り入れていく。 12ヶ月
4	33	重度化、終末期ケアの対応について取り組めていない。	重度化、終末期ケアの研修会を行う。また、方針を策定し、取り組める準備ができる。	重度化、終末期ケアにむけての研修の機会を設ける。他の事業所との交流を通じ、取り組みの事例があれば参考にする。 12ヶ月
5	6	身体拘束をしないケアへの取り組み。	身体拘束について一層の理解を深める。	研修の機会を設ける。問題があれば、職員間で話し合う機会を設ける。 12ヶ月

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホームオハナ

作成日: 平成 26 年 5 月 25 日



目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	49	個別な外出支援の機会が少ない。	行事の参加は勿論、定期的にご利用者様個別に希望に添える外出支援ができる。	行事は予定を早めに立て、ご家族の参加も呼び掛ける。またご利用者様の希望に添えるように、職員間の情報を交換を行い支援をする。	6ヶ月
7	1	理念をホールに掲示しているが、現場で日々どのような場面でそれを思い出し、また職員同士が共有出来ているのかが、はっきりとしない。	職員間での共有が出来るようになる。	理念に沿ったケアが出来ているのか、職員会議などの場で、定期的に意見交換を行う。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。